

森のおくりもの 9月



サワガニ（サワガニ科）



生き生きとしていた木々の緑が、少し疲れたような色合いになってきました。かわりに草や木の実が大きくなり、色づいてきています。秋の小さな花たちも咲き始めました。森は秋の装いに移りつつあります。

手書きで作った第1号から25年間にわたって、皆様に毎月お届けしてきた「森のおくりもの」が300号を迎えました。これからも森のにおいや生きものたちの息遣いが感じられるような紙面をつくっていきたいと思います。

【写真・文 早坂 徹】

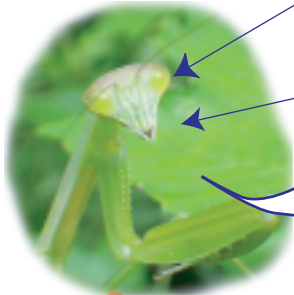
# 鋭い目つきのハンター カマキリ



観察の森には、**オオカマキリ**・**コカマキリ**の2種類のカマキリが見られます。5月にセンター前の花壇で生まれたオオカマキリが成虫になり、時々、ミヤマシキミの葉の上を巡回しています。(クロアゲハなどの幼虫を食べてしまわないか、心配です。)

いかにも「ハンター」な顔つき体つきのカマキリ、とても強そうですが、天敵はたくさんいます。卵の時には、**カサネ**や**カオバシ**や鳥など、幼虫の時には、トンボや鳥、ヘビ、カエルなど、時には共食いも。成虫になっても鳥や動物などに食べられます。また、\***ハリガネムシ**に寄生されることもしばしば。(センター前の水たまりに、カマキリのお腹からでてきたと思われる、長いハリガネムシが3匹いたことがありました。)

手ごろな大きさの動く物体はすべて餌に見えるメス



・正面を両眼視することができる複眼。  
(昼間緑色の眼は夜になると真っ黒になる)

・首が細く顔だけ動かして獲物を見ることが出来る。

成熟したカマキリのメスは、オスをよび集めるフェロモンを出し、この匂いを頼りにオスはメスを見つけます。

約200個の卵が入っている卵鞘(らんしょう)を、何個か産みます。泡は乾燥すると、発報スチロールのように軽い断熱材となって、卵を寒さなどから守ります。



## オオカマキリの一生

生まれた時は眼が真っ黒。体長約10mm  
7回脱皮を繰り返して成虫になります。



## カマキリ の見分け方

カマに黒、白、黒の模様が入る。



コカマキリ



オオカマキリ

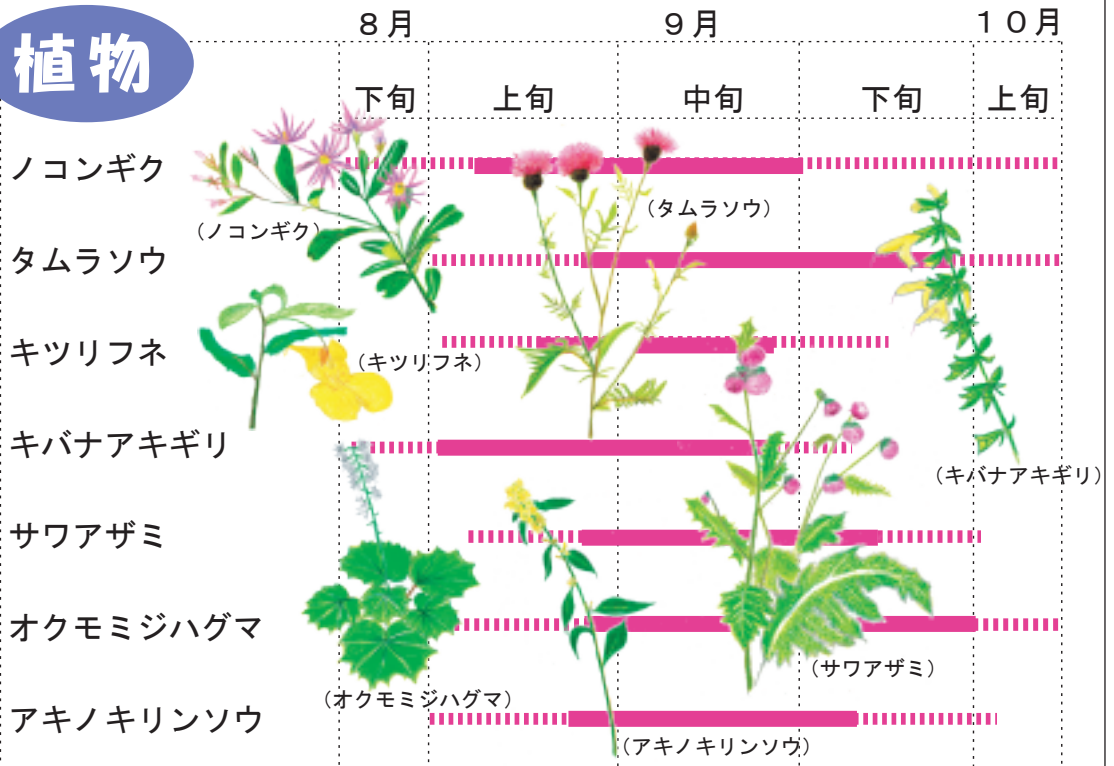
前脚付根の部分が黄色。ここがオレンジだったら、チョウセンカマキリ。体が茶色い個体もいる。

【レンジャー:黒川周子】

\*ハリガネムシとは・・・カマキリや、コオロギなどに寄生する寄生虫で、細長い針金のような体をしています。成熟したハリガネムシは、交尾産卵をするために、カマキリの生理的な要求をコントロールしてカマキリを水辺に向かわせ、お腹からでてきます。一匹のカマキリから数匹でてくることもあります。

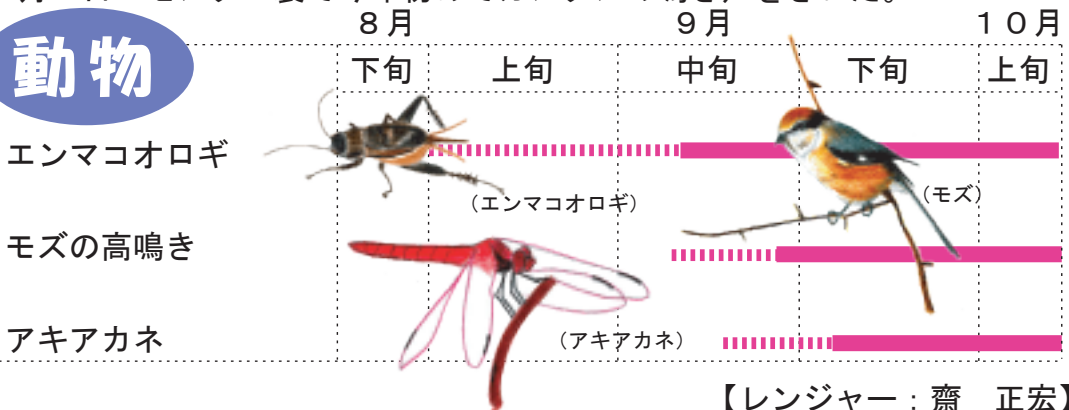
# 9月の生物ごよみ

## 植物



- 8月 3日 いこいの道でシラヤマギクが咲き始める。昨年より10日ぐらい早く開花した。
- 8月10日 センター周辺でコムクドリの群れに出会う。200羽ぐらいはいただろうか。
- 8月14日 センター前のエノキにオオムラサキが産卵に来ていた。
- 8月16日 やすらぎの道でチッチゼミが鳴き始める。
- 8月20日 ヤマツツジの丘に赤くなったヤマボウシの実が落ちていた。
- 8月30日 センター裏で今年初めてカンタンの鳴き声をきいた。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】



## レンジャーの森の雑記帳



仙台近郊の山々でまだ紅葉の時期には早いのに、葉が赤くなって立ち枯れている木を時々見かけることがあります。大体は松枯れ病とナラ枯れによるものと思いますが、そのナラ枯れが、自宅の横にあるコナラの大木にも及ぶとは思いませんでした。高齢の母親が数年前にこのコナラの枝葉を落とす、ハイイロチョッキリという虫の話を新聞の記事にしてもらったこともあり、そんな思い出の樹でもありましたので、日に日にその大木が枯れていく様を見るのはとても残念な気持ちでした。ナラ枯れはカシノナガキクイムシという小さな虫が木に入り、その虫から媒介した菌によって木自体が病変し生命線である水分を失います。そういえば昨年だったかこの木は<sup>ほうき</sup>箒では掃ききれない大量のドングリの実を落下させていました。コナラもこれから我が身に降りかかる何かの前兆を感じていたのか、単なる偶然だったのかは分かりません。大木のコナラはその大きな樹幹で木陰をつくり、盛夏の強い日差しから、配達に訪れる人の良き休憩場所にもなっていました。たった一本の樹の下で変わらぬ静かな日常が流れ、いつもあたりまえのようにそばに存在するものが消えてしまうのを想像すると寂しくもあります。全国的に見ればナラ枯れの被害は平成22年のピークからやや減少傾向にあるということなので、宮城県では被害がどう広がるか予測もつきませんが、今後ナラ枯れの被害は拡大せずにこのまま収束してくれないだろうかと願っています。



『カシノナガキクイムシ』

それにしても半世紀近くをかけて成長し幾度の風雪に耐えてきた樹木が、5mmにも満たない虫によって突然数か月で枯れ死してしまうのは自然の不思議さを見たような気がします。繰り返される自然の営みの中で起きたことなら循環的な生態系が隠されているのかもしれませんが、この枯れ行くコナラから大地にばらまかれたドングリの実だけがその答えを知っているのかもしれませんが。

【レンジャー：阿部正明】

# 巨木が語る 「長寿の秘訣」とは!?

# スギ 杉

## 腹八分、カロリー制限が鍵。

スギは日本の「木の文化」において、重要な樹木のひとつです。建築材として一番多く植林されており、また、多くの神社仏閣では「ご神木」として日本人の精神的な支えにもなっています。

この身近で大切なスギは、長寿で巨木が多い樹木としても知られています。平均的な寿命は500年程度と言われていますが、屋久島の縄文杉にいたっては、2000年以上とも。なんとも驚きの長寿です。

ではなぜ屋久島の杉はこれほど長寿なのでしょう。それは屋久島の環境に理由があります。屋久島は花崗岩の島です。土壌は浅く根から十分な栄養がとれず、成長が遅くなりその分丈夫になりました。

このことは人間に当てはまるかもしれません。現代社会は「飽食の時代」です。それゆえに栄養過多となり、生活習慣病の原因になっています。カロリー制限をすると動物の寿命が延びるという研究結果も報告されています。

食欲の秋になります。スギの巨木を思い出し、そのもう一口を我慢して、長寿をめざしてみませんか。

- ・スギ科スギ属
- ・常緑高木
- ・日本固有種
- ・本州から屋久島まで分布
- ・雌雄同種
- ・葉はらせん状に互生し、鎌の刃のように湾曲した針形



仙台市泉区福岡にあるスギの巨木  
「鷲倉神社の姥杉」  
樹齢500年 樹高39m 幹周8m

## 観察の森の スギについて



観察の森の入り口からみはらしの道の南側谷沿いに、杉林があります。スギの樹皮は赤褐色で帯状に簡単に裂けます。よく見るとなやら誰かがその樹皮を裂いてむしり取った跡が!!

可愛い犯人はリスでした。リスはスギの樹皮を使って巣を作ります。リスにとってもスギは、家をつくる大切な建築材なのです。



- ・若林区の庄子家の居久根に植えられた樹木で最も多かったのはスギの31本。
- ・仙台藩ではスギを御留木（藩の権力で伐採を禁止した木）のひとつにした。
- ・京都の伏見稲荷大社の初午大祭は、商売繁盛・家内安全の護符として「しるし（験）の杉」を授かれる。
- ・南三陸杉は、背が高く板にするとピンクで「美人杉」と呼ばれる。
- ・酒屋の杉玉が新しくなると新酒ができたしるしだ。

【レンジャー：遠藤和子】



# 9月のイベント&お知らせ



## ◆秋の虫むしめっけ♪

9月17日(土) 10:00~11:30

・未就学児と保護者の方を対象にした自然観察プログラムです。  
昆虫の見つけ方、捕まえ方から体験します。

【定員】15名(未就学児とその家族)

【持ち物】帽子、長袖・長ズボン、飲み物、虫よけ、雨天時は雨具(カッパ)  
※捕虫具は不要です。

【申込み】9月6日(火)午前9時から電話で受付〔先着〕



## ◆館長と森を歩こう

9月25日(日) 10:00~11:30

・森の植物や生き物の不思議や発見を体験します。

【申込み】不要 直接会場へ



毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

9月の開催日は  
4日、11日、18日、25日です。

開催時間: 10:00~11:30  
13:30~15:00

今月のガイドウォークのテーマは  
「秋の草花と虫たち」



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!



### 9月の休館日

5日、12日、  
20日、26日

### ♪森へおいでください♪



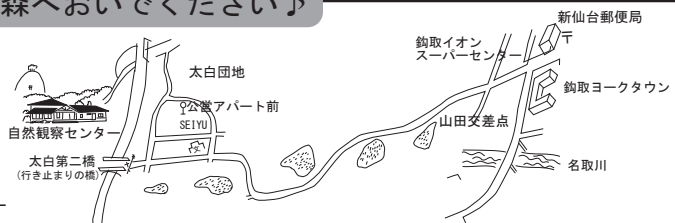
#### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



### スタッフBLOG開始しました!

自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2016年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>